

愛知県立犬山南高等学校

愛知県一の多様な進路実現を

「学び直しの「向上」を中心に」

今回の訪問校は、愛知県立犬山南高等学校（以下、犬南）である。犬山市の南部、小牧市と隣接する丘の上に位置し、最寄りの名鉄楽田駅（もしくは田県神社前駅）からは歩いて25分ほどを要する。生徒たちの多くは、駅に留め置きした自転車で登校している。

犬南では、「愛知県一の多様な進路実現」を支援することを教職員が大切に、様々な取り組みが行われている。その一つが、毎朝10分間の学校設定科目「向上」だ。「向上」は、生徒一人ひとりの基礎学力と集中力の向上を目的とし、全学年同じ内容で一斉に行われている。さらには、キャリア教育に力を入れ、

✓ 学校の沿革と概要

生徒一人ひとりの進路実現をサポートするとともに、部活動や学校行事などを通じて生徒たちに活躍の場、自信をつけさせる機会を大切にしている。

他にも、学習指導・生徒指導に様々な工夫がされている。以下、生徒たちの自己肯定感を育み、学習意欲を高め、多様な進路の実現を支援する犬南の取り組みを、「向上」を中心に紹介していく。

犬南は、尾北地区の人口増を受け、1978（昭和53）年に開校した。文武両道で、国公立大学や有名私大への進学実績を残すとともに、多くの部活動が好成績をあげていた。

その後、県の高校入試改革のなかで、駅から遠い、通学路が山越えで危険な印象があるといった立地条件の不利が影響し、定員割れの2次募集を繰り返すようになった。学力や生徒指導上の課題の多

い生徒たちが入学するようになり、「進学校」から「荒れた学校」のイメージを持たれるようになっていったという。

そうしたイメージを打ち破るために、犬南の教職員は学校改革に取り組んできた。特に、10年前からは、「学校のイメージを変えるためにやれることは何でもする」という信念のもと、表1のような多

表1 犬南の教育改革

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①制服の全面変更 ②公開授業(年2回中学教員、学校評議員対象、保護者対象) ③中学校との連携(中学校に出向いての生徒情報の提供と収集、管理職の中学校訪問、全教員が中学校の授業参観に参加) ④学校見学会 ⑤授業改革(少人数・習熟度編成授業による「わかる授業」、「学習状況報告書」による授業態度の改善、授業開始2分前に予鈴代わりに音楽を流して着席を促す) ⑥生徒指導(身だしなみの徹底、遅刻指導) ⑦おあしす運動(生徒・教職員だけでなく、保護者・地域住民も参加して、日本一の挨拶ができる学校を目指す) ⑧ホームページの充実(学校の活動を紹介) |
|--|

彩な取り組みが行われてきた。

2012（平成24）年度からは、文部科学省の「『確かな学力の育成に係る実践的調査研究』における『新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究（高等学校）』の研究指定を受け、実践を深めていった。義務教育段階の基礎学力に不安のある生徒、進路目標を持たない生徒が多いという認識から、(1)義務教育段階の学習内容について定着を図り、(2)キャリア教育を充実させ、将来の夢や目標を持たせることにより、学習意欲を喚起する——という二つの課題を設定した。そこで立てられたのが、「『学びの向上』犬南アクションプラン」である。アクションプランでは、確かな学力をつけるための「学ぶ力」の育成、「学びの意欲」や姿勢を高めるための学びの場づくり、できる喜び・分かる喜びを増やして「学びの活力」を身につけさせるという三つの学びの向上を目指している。その中心をなすのが、「向上」

の時間である。

学び直しの「向上」

「向上」は、「学び直し」のためのプリント学習で、2010（平成22）年度より取り組まれている（表2参照）。課外の学習ではなく、10分間×5回（月～金）を1単位時間（50分）として設定した学

表2 「向上」概要

- ・実施曜日：月～金 週5日間（行事日・考査日を除く）
- ・実施時間：8:35～8:45
- ・実施学年：全学年
- ・実施科目と内容：
 - 月…集中力を高める教材（理科・保健）
 - 火～木…英数国で3日間連続、週替わり
 - 金…常識力・生活力を高める教材（社会・家庭）
- ・評価：毎日の学習の取組を観点別で評価し、学期で5段階評価する。

校設定科目である。生徒たちは、SHR前の朝の10分間、教員が分担して作成した全学

年共通の課題プリントに取り組む。「義務教育内容の基礎的・基本的事項の復習、確認及び習熟」を図るとされているが、教科の学習内容に限らず広く常識的な知識や社会に出て必要になる知識の問題なども含まれている。

「向上」は、犬南の校訓である「向上と内省」をもとに生み出されたそうである。各個人の学習でのつまづいた点を自ら「内省」し、集中力を高めることで、その後の授業への取り組み姿勢をつくり、学習に対する達成感や意欲が向上することをねらいとしている。

具体的な目標として、三つの向上が掲げられている。

1 基礎学力の向上

2 学習姿勢・意欲の向上—①人の話を聞く姿勢、学ぶ姿勢をつくり授業に取り組む姿勢をつくる②朝、脳を覚醒させ、集中力を高めさせる

3 基本的な生活習慣と生活力の向上—生徒に「朝から授業が始まる」という意識を

持たせて、基本的な生活習慣を確立させ、一般常識を学ぶことで生活力を高めさせる

このように、「向上」は、基礎学力の向上はもちろんのこと、一日の学習のスタートとして頭と心と体を整えることもねらいとされている。「向上」は、8時35分に始まるが、30分に昇降口を通過していない生徒は、別室で「向上」を受ける。取り組み中に遅刻者が教室に入ることによって集中が妨げられることを防ぐことが目的だという。


犬南には、義務教育段階の基礎学力に不安のある生徒が多く入学してくる。学習や自分に自信が持てず、自己肯定感の低い生徒も少なからずいる。そうした生徒たちに「できた！」という達成感、「やればできる！」という自信をつけさせ、分かる楽しさや喜びを感じさせることが、基礎学力の定着同様に重要視されている。「向上」は、教科であるので通知表で評価される。しっかり取り組みれば高い

プリント例


平成 26 年 6 月 13 日 (金) 向上 年 組 番 氏 名 _____

① 5 つのヒントをもとに、どの都道府県か答えてみよう。


A

- 九州地方の中でもっとも人口が多い。
- 宗廟大社があります。
- 大宰府天満宮があります。
- 明太子が名物です。
- 


B

- 世界遺産の「延暦城」があります。
- 大河ドラマの主人公「黒田官兵衛」の出身県です。
- 県庁所在地は「神戸」です。
- 日本の標準時子午線が通っています。
- 


C

- 坂本龍馬の出身県です。
- 「かつおのたたき」が有名です。
- 土佐犬の発祥地です。
- 紀伊之の「土佐日記」の舞台になっています。
- 

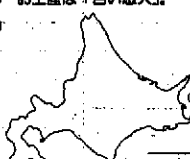
D

- 世界最古の木造建築である「法隆寺」があります。
- 旧国名は「大和」です。
- 東大寺の大仏があります。
- ゆるキャラに「せんたくん」がいます。
- 

E

- 県内から富士山が見えます。
- お茶の生産地「牧ノ原」があります。
- 徳川家康が晩年を過ごした駿府城があります。
- ちびまるこちゃんの住んでる湧水があります。
- 

F

- 一般的に梅雨のない都道府県です。
- 旧国名は「会美地」です。
- 「五輪郭」というオランダ式の城郭があります。
- お土産は「白い恋人」。
- 

〈解答欄〉

A	B	C
D	E	F

評価を得ることができると、「やればできるんだ」と自信をつける生徒も少なくないそうである。

教材となるプリントは、教員が分担して作成する。各教員が自分たちの生徒の自立に必要なと思うもの、生徒たちが意欲的に取り組むことができるであろうと

考えるものを教材化している（したがって必ずしも体系化した学習領域とはなっていない）。課題は、各学年共通問題ということもあり、毎年度刷新されるが、教員は創意工夫を生かして意欲的にプリントづくりに取り組んでいるそうである。

いくつかプリントを紹介すると、英語

では、「身の回りのことを英語で表現すると…」という英単語・例文の学習がある。数学では、因数分解やいろいろな図形の面積を求める問題などがある。国語では、敬語の学習や同音異義語の書き取り、ことわざの学習などがある。

教職員全員体制で行われている点も「向上」の特筆すべき点であろう。プリント作成にも多くの教員が携わっているが、「向上」の時間の実施も全校体制である。正門で安全指導をしながら生徒たちと挨拶を交わす校長をはじめとした「オアシス運動」担当の教員、駐輪場指導の教員、各教室の担当教員など輪番制で取り組みを行っている。教室担当の教員も週替わりで、複数の教員でクラスに関わることができるという。

「向上」の成果としては、落ち着いて学習に取り組む姿勢が向上し、英語と数学の基礎力、読解力や文章力など総合的な国語力の向上が見られた。生徒の自己評価では、集中力が高まったと回答する生

徒の割合が非常に高かったという。高校3年間の評定が「4」以上の生徒を見ると、中学評定が必ずしも高くなかった（かなり低い）生徒が多く含まれている。「向上」でのがんばりが、3年間の学びの成果として表れたのだろう。

また、「向上」の時間に、全職員が全校一丸体制で取り組んだことで、学校生活面に多大な波及効果があった。遅刻の激減、全校集会や式典、学年集会、外部講師を招へいしての各種講演会における聞く態度や、大学講義体験などの外部行事での生徒の取り組み姿勢が大変良くなったそうである。

✓ 夢をかなえる進路実現のための生活指導

「向上」は、遅刻者の減少にも大きく貢献した。犬南では、8時28分に音楽が流れ始め、29分にはその曲が変わり、生徒たちに時間を知らせる。遅刻しそうな生徒たちは、正門から校舎に続く200メ

ートルほどの坂（がんばり坂と呼ばれ、同名の歌も作られている）を駆け上ってくる。以前は、時間ぎりぎりでも歩いてきた生徒が、遅刻を意識するようになったのである。遅刻者の数も、平成25年度で見ると取り組みを始める前年度と比べ、4分の1までに激減している。

遅刻指導も含め、「時を守り、場を浄め、礼を正す」と表現される基本的生活習慣の確立も犬南の教育の柱となっている。挨拶については、教職員・生徒会に加えて、保護者・地域住民も参加しての「おあしす運動」に取り組んでおり、生徒たちは気持ちのいい挨拶をしてくれる。訪問時には、校内の様子も見学させていたのだが、靴箱やロッカーがきちんと整理されており、落ち着いた学習環境を整えることも大切にされている。

✓ 「学びの意欲」を向上させるキャリア教育

学びの向上犬南アクションプランの特

に「学びの意欲」の向上を担うのがキャリア教育である。大学講義体験、職業観を深める進路別講話、施設の舞台裏を知る企業見学（日本モンキーセンター）、地域連携によるインターンシップ、職業の視野を広げる進路フェスタ、国際理解を深める国際交流活動といった様々な取り組みを通して、生徒の意欲を引き出すことがねらわれている。

大学講義体験では、進学希望者のみならず、全生徒が隣接する名古屋経済大学の講義を受講し、レポートにまとめることで、進路へのきっかけづくりをねらっている。また、図書館などの施設利用、附属幼稚園での体験実習、練習試合・文化部と展示などの部活動交流といった様々な形で高大連携活動を行っている。

✓ 部活動・学校行事の充実

犬南は、部活動にも力を入れている。朝の「向上」の取り組みにより7限目が

なく、放課後の時間が確保されている。1年生には、全員が部活動に加入するよう指導がされ、2年生以降も6割ほどの定着率があるという。生徒数が減ってもあえて部活動数を減らさなかったため、生徒数に比して部活動数が多い。おかげで、多くの部で全部員が公式試合に参加できる。教員だけで指導が難しい部活動は、専門的な外部指導者の指導を仰いでいるそうである。

また、学校行事も多く、部活動同様、以前からある行事を減らさずに残すことで、生徒が真剣に取り組み、活躍する機会を保障している。その一つである地域交流活動は、開校より37年間継続している伝統行事で、ボランティア活動や福祉施設との交流を続けている。

✓ 学校全体で生徒を育てる

こうした取り組みの成果もあり、犬南の一般入試倍率は上昇し、平成26年度

は2・43倍となつていく。平成21年度には、5クラスから6クラスへと定員増も行われている。

表3は、過去3年間の卒業生の進路状況である。4年制大学進学者から就職まで幅広い進路となつていくが、就職については非常に高い求人数と就職内定率を誇っている。平成25年度も就職内定率100%を果たしている。

近年の卒業生には、女性初の鶏匠として注目される方や、45倍の超難関試験を

表3 過去3年間の進路状況(人)

		H24	H25	H26	
進学	大学	国公立	1	1	0
		私立	38	50	58
	短期大学		24	34	23
	専修・各種学校		67	50	75
就職		30	44	26	

乗り越えた航空自衛隊航空学生などがいる。犬南で夢を切り開く強い力を育まれたのだから。今回の訪問で印象に

残ったのは、全教職員が「向上」をはじめとした教育活動に、一致団結して取り組んでいることである。あらゆる教育活動が、生徒の将来のために設計され、基礎基本の学習を定着させることや当たり前前することをきちんとできるように生徒指導も行われている。

「向上」の全校実施体制のなか、丹羽彦校長は、毎朝雨の日も雪の日も校門で交通指導をしながら生徒たちと挨拶を交わしている。「大変ですね」という筆者に対し、「登校してくる生徒の方がよっぽど大変ですよ」と笑っておられた。こうした教職員に支えられながら、犬南生は、多様な進路実現を果たしていくのだろうと感じられた。

「学校所在地」

〒484-0835 愛知県犬山市蓮池2番地の21
TEL 0568-67-5211
FAX 0568-67-9388